

予算特別委員会から

平成16年度一般会計歳入歳出予算の審査状況から、主なものをお知らせします。

賛成討論

市民フォーラム
 本予算は、市民の暮らしに安心と活力を与える積極予算であると評価する。

歳入における自主財源の確立は、地方分権時代では、益々重要になっており、競走事業で前年度比40%増の7億円の繰入れを見込めたことは、評価する。

一方、歳出では、自転車駐輪場の改善、不登校対策の強化をはじめとする教育行政の充実、そしてパブリックコメントの充実など、市の前向きな姿勢が明らかになった。

効率的な行政経営を基本とし、市制50周年に当たるこの年を本市の未来における礎となるよう、市民ニーズを的確にとらえ、政策として実現するよう要望し、賛成意見とする。

府中市議会市政会
 本予算は、市制施行50周年を迎え、大きく前進するための必要な施策に、重点的かつ積極的にメリハリのある予算が編成され、「心ふれあう緑ゆたかな住みよいまち」の実現に向けたものと評価する。

歳入では、厳しい市税収入の中でも前年に引き続き、都市計画税の税率を100分の0.2とし、市民の税負担の緩和が図られている。

一方、歳出では、新たに20事業を立ち上げ、27事業のレベルアップを図り、26事業の見直しを行うなど、時代の要請にこたえたものとなっている。

本予算の執行に当たっては、市民福祉の向上を目指すことを要望し、賛成意見とする。

反対討論

生活者ネットワーク
 平成16年度の主な新規事業として、子育て支援中核施設や新図書館、リサイクルプラザなどがあるが、これらの施設が50年先を見据えた時、本当に市民のために活用されることを期待する。

まちづくりへの市民の参加意識が高まっている中、市民との協働を前面に打ち出した施政方針が必要と思うが、現状では、市民と行政の間に認識の差が大きく、プロセスが一方的との市民の不満の声も聞かれる。

今回の16年度予算は、市民との協働をつくり上げていくシステムづくりには大きな課題を残すものと考え、本年度予算に反対する。

日本共産党府中市議会議員団
 国は、国民の家計収入が減少し、消費が一層冷え込む中、年金保険料の引上げ等の際限のない国民負担増を推し進め、市民生活は依然として厳しい状況に置かれている。

そのような中、市は、都の切下げに便乗した指定疾病者福祉手当の削減を行った。

また、PFI手法による図書館建設も、運営を含めた導入可能性調査が行われている。しかし、コストだけでは比較できない側面を多く持つ図書館業務運営の委託化は、すべきではないと考える。

市民の暮らしの実態に目を向けた市政運営への切替えを求め、本年度予算に反対する。

歳入

日本郵政公社 固定資産税の取扱いは

委員 本市には、例年、国有資産等所在市町村交付金が交付されていたが、平成15年4月に日本郵政公社が設立したことに伴い、同公社の固定資産税については、どのような取扱いとなるか。

資産税課長 従来、
 郵政事業関係の固定資産税は非課税となっており、官舎等は、民間法人が所有する社宅等と同様の使用形態であると、交付金が交付されていた。

しかし、公社設立に伴い、16年度から官舎等は、固定資産税を課税することになる。

また、市内にある武蔵府中郵便局と東京多摩郵便局の2ヶ所については、納付金として納付することとなる。

市営住宅使用料 対象戸数減の理由は

委員 平成16年度予算では、市営住宅の使用料の対象戸数が昨年度に比較して20戸減っているが、その理由は。

また、市営住宅の駐車場に空きがある場合、住宅に入居していない人でも利用できるか。

住宅勤務課長 若松町住宅の建替えをしており、使用料収入が見込めないため、その分を差し引いた数字で予算を計上したためである。

また、駐車場は、国や都から補助金が出ているので、今すぐ空いている駐車場を市民に開放することは難しいが、都営住宅の一部では対応していると聞くので、今後の課題と考えている。

歳出

市役所窓口の休日開庁 その内容は

委員 市長の公約の中に、平成16年度、新たに実現するものとして、市役所窓口の休日開庁があるが、それに伴う経費はどのくらいか。

また、具体的に開庁を行う曜日や、その範囲について聞きたい。

管財課長 休日開庁に伴う経費は、庁舎総合管理委託料及び電気料で、947万9千円を予算計上している。

企画課長 開庁日としては、土曜日または日曜日のうちで月2回程度の実施を予定している。

また、開庁の範囲としては、本庁を前提とし、総合窓口課及び納税課の業務を中心に、現在進めている。

花蓮保存普及費 16年度の内容は

委員 平成16年度の予算に、緑化対策費の花蓮保存普及費が計上されているが、その内容を聞きたい。

また、寿中央公園にあるひょうたん池にも、蓮が栽培されている。

しかし、空き缶等のゴミが散乱し、汚れているという声を聞くが、市はどのような対策を考えているか。

緑のまちづくり推進課長 毎年7月に、市民健康センター修景池で開催している「蓮を観る会」の事業経費、そして

神社内の公衆トイレ 観光案内所の併設は必要か

委員 大國魂神社の境内にある既存の公衆トイレは、老朽化が激しく、また、目立たない場所にあることなどで、建替えをすることとなった。

しかし、予算書を見ると、2か年事業で、約7900万円が計上されている。

最初は、トイレの改修のみと思っていたが、観光案内所や会議室の併設が計画されている。

なぜ、案内所や会議室が必要なのか聞きたい。

産業経済課長 府中市観光協会の中に30人の観光案内ボランティアがあり、様々な活動を行っている。

その人たちが、観光客に情報を発信する場として、案内所等が必要であると考え、予算計上をした。

算数、数学の少人数指導 他の教科への導入は

委員 小・中学校の算数と数学の授業に少人数指導が導入されるが、今後、他の教科に拡大する考えはあるか。

また、保護者の間で不安が持ち上がっているとの聞く。

そこで、市はどのように考えているか。

指導室長 他教科については算数、数学の少人数指導の成果を見極めた上で、検討していきたい。

また、2月から3月にかけて、各学校が1年間の教育課程の計画を編成している。その教育課程が、3月中旬に提出されるため、保護者への説明等が十分ではなかったが、各学校4月当初の保護者会で少人数指導等の趣旨は十分徹底されると考えている。



▲蓮を観る会から

修景池と寿中央公園で栽培している30種類の蓮の維持管理経費である。

また、ひょうたん池は16年度中には、抜本的な整備工事を見込んでいます。